

令和8年度 第1回恵庭市地域公共交通活性化協議会 会議録
(事務局：生活環境部生活環境課)

1. 開催日時 令和8年6月29日(月) 午後3時00分～午後3時50分

2. 開催場所 恵庭市役所 3階 第2.3委員会室

3. 出席者等

出席者： 門間 俊也、野藤 昌樹、喜多 美恵、小野田 啓太、土田 裕司、
金田一 秀美、小林 愛、鈴田 華江、高橋 英雄、佐々木 正博、
竹内 春実、山下 洋子、亀石 和代、福田 勝昭、望月 伸一、
横道 義孝、野村 孝治、田中 徹(敬称略)

欠席者： 藤吉 丈伸、島田 圭一、高橋 国広、井元 秀樹(敬称略)

随行者： 0名

傍聴者： 0名

事務局： 山口 勝(生活環境部長)、狩野 志帆(生活環境部次長)
加賀谷 隆志(生活環境課長)、浜野 晋輔(同主査)、齋藤 佳子(同職員)

4. 協議会の経過

1. 開 会

2. 委嘱状交付

3. 会長あいさつ

4. 議題

報告第1号 令和7年度歳入歳出決算報告

報告第2号 令和7年度監査報告

－事務局及び監査委員より資料に基づき報告－

A 委員) 令和7年度歳入歳出決算について、サイネージ車内広告収入に変動はあったのか。
事務局) 1台につき2,200円、6台で毎月13,200円収入は固定、前年度から増減はなし。

－その他、質疑なく了承－

報告第3号 令和7・8年度の利用状況(エコバス・エコタク)

報告第4号 新規路線(CDコース)の本格運行について

報告第5号 新しい地方経済・生活環境創生交付金(デジタル実装型)
におけるKPIと令和7年度実績について

－事務局より資料に基づき報告－

A 委員) 令和 7 年度歳入歳出決算にも付随する内容となるが、定期券売上収入が減ったとの理解でよいか。

事務局) 当協議会の事業収入については、恵庭市生活環境課窓口及びバスもり！に係る定期券の売上を計上している。昨年度に比べるとこの事業収入は減っているが、現金・回数券での利用者が増えているため、収入も増えている。

A 委員) P11 にある「④各種工事」だが、どこが所有している土地での工事なのか教えていただきたい。

事務局) 恵庭市所有の土地である。なお、工事内容については、まず恵庭駅東口は AB コース共有の停留所標識であったが、今回のダイヤ改正で A コースと B コースで標識を分けた。それにあたり点字ブロックの設置や乗降に支障となる柵の取り外しを行った。次に、恵み野駅東口については、新規路線の CD コースのバス停車位置に白線をひいた。

A 委員) 以前（新規路線開始前）、信号機を付ける付けないの話があったが、その後どうなったか。今後、道路に信号機を付ける予定はあるか。

事務局) 信号機を付ける話があったのは恵み野のセイコーマート近辺の停留所である。当初、車通りの多い道路（団地環状通）沿いの停留所設置を予定していたが、千歳警察署より信号機がないため道路を横断する方の事故が想定されることから、停留所設置はやめるよう指導を受けた経緯がある。
そのため、近くのセイコーマート前の団地中央通沿いに停留所を設置した。
当該地に限らず信号機の設置要望はありますが、現時点では信号機の設置の予定はない。

－その他、質疑なく了承－

議案第 1 号 令和 8 年度事業計画（案）

⇒記載はないが、今年度はエコバスのキャッシュレス決済の導入や乗り継ぎ券の不正使用の問題解決を含めた調査研究を行う年度と位置付けている。先進事例、他市町村の取り組み状況や費用等を調査し、タイミングを見計らい当協議会でご説明させていただきたいと考えている。

議案第 2 号 令和 8 年度歳入歳出予算（案）

議案第 3 号 地域内フィーダー系統確保維持計画（案）

⇒新規路線の CD コースについては、当該資料には記載していない。

これは、従前から AB コースについて記載し毎年国から補助をいただいております、昨年新たに CD コースをスタートさせたところですが、地域内フィーダー系統確保維持計画に CD コース分を反映させるには、恵庭市地域公共交通計画の目標値等の修正が必要となりますが、CD コースは令和 7 年 9 月から試験運行している一方で、目標値を設定するための材料が乏しく目標値の設定が困難であること、また恵庭市地域公共交通計画の修正には、当協議会による合意形成やパブリックコメントにより広く市民の皆様のご意見をお聞きするという手続きや準備に数か月必要であり短期間での実施は期間的に不可能であること、以上のことから地域内フィーダー系統確保維持計画に CD コース分の反映は行わないこととしたい。

なお、CD コースを反映しないことによる影響については、現状の AB コースの掲載における補助対象経費のうち、国の予算の兼ね合いで補助の実績額は 1 割にも満たないため、CD コースを反映しても人口に対する定額的な補助の性格が強くおおむね補助額は変わらないだろうということを札幌運輸支局にヒアリングで確認している。

－事務局より資料に基づき説明－

B 委員) 恵庭南高校の定時制の生徒の帰宅時間について、授業終了後に島松駅までバスが運行してもらえるよう過去に要望した経緯があり、既存路線のダイヤを昨年 9 月に改正したが、そこはしっかりクリアされていると認識している。ついては、P57 に記載の恵庭南高校の乗降者数 507 名について、同校の定時制の生徒が何人乗っているか把握していたら教えてほしい。

事務局) 既存路線のダイヤを改正する際、恵庭南高校の定時制の教員へ事前説明をした上で、授業終了後にも島松駅まで運行するダイヤを組んでいる。P57 に記載の恵庭南高校の乗降者数 507 名については、現行の恵庭市地域公共交通計画を策定する際に調査したデータであり、また恵庭南高校の停留所は定時制の生徒以外の方も利用されることから、定時制の生徒の乗降者数に限定した人数の把握はしていない。人数を把握するには、定時制の先生が把握していると思われるので、確認することは可能。

－採決を取り、異議なく承認－

5. その他

C 委員) 観光フィーダーの補助制度が新たに出来たので、機をみてご検討いただけたらと思う。

事務局) 先日、イエローポップより時刻表を作成したい旨ご連絡があった。具体的には、イエローポップの広告収入をもとに先方の経費で時刻表を作成し、当協議会事務局で然るべき箇所に配布してほしいという内容であったので、これを承諾し 8 月を目途に JR 各駅や公共施設等を中心に時刻表の配布を行う。また、フロンティアエージ

エンシーという企業も同様に広告収入をもとに時刻表を作成し新聞折り込みや広告元を中心に時刻表を配布しておりますので、併せてご報告する。

6. 閉会 午後3時50分終了



以 上